



# iPhoneサイトのれしび



## 用意するもの

- ◆ iPhone または iPod touch
- ◆ Mac OS X が動作する Mac
- ◆ iPhone シミュレータ ☐ <http://developer.apple.com/devcenter/ios/index.action>
- ◆ レンタルサーバーまたは MAMP などの Web サーバー
- ◆ Dreamweaver またはエディタソフト
  - ☞ Zen Coding extension extension ☐ <http://code.google.com/p/zen-coding/downloads/detail?name=Zen%20Coding.mxp&can=2&q=>
  - ☞ コメントを生成して挿入する Dreamweaver 用の拡張機能 ☐ <http://design.kayac.com/topics/2010/05/dreamweaver-extension.php>
  - ☞ iPhone site extension for Dreamweaver CS4/5 ☐ [http://h2o-space.com/web/product/iphone\\_dw/](http://h2o-space.com/web/product/iphone_dw/)

## 1 画面設計

スマートフォンの画面を設計します。紙に手描き、PowerPoint などのドローツールなど好きなもので作る  
とよいでしょう。オンラインサービスの「Cacoo (cacoo.com)」を利用すると、あらかじめ iPhone パー  
ツがステンシルとして準備されていて便利です。

## 2 画面デザイン

Adobe® Photoshop、Fireworks などを用いてデザイン画像を作成していきます。この時、画面の幅や大  
きさを把握しやすいように、実寸大 PSD などを利用するとよいでしょう。

☐ <http://www.techanlax.com/blog/2010/08/12/iphone-4-gui-psd-retina-display/>

## 3 HTML コーディング

まずは、それぞれ正しくマークアップしていきましょう。この時、iPhone の Safari (Mobile Safari) は  
HTML5 の対応が進んでいるため、HTML5 を使うと将来性という意味でもよいでしょう。  
HTML5 の主な新規タグは次のとおりです。

header 要素 / footer 要素	その名の通り、ヘッダーとフッターをマークアップする要素です。
nav 要素	ナビゲーションをマークアップする要素です。
article 要素	article (記事) という名前の通り、独立した記事をマークアップします。
section 要素	section は「区画」などと訳され、一般的にはこれまで div 要素でマークアップしていた要素に置き換わります。
aside 要素	文章の主題とは直接関係がない、補足的な情報を表す要素です。

## iPhoneならではのタグ

続いて、iPhone ならではのタグを記述します。それぞれ、head 要素に記述しましょう。

**viewport** 画面の表示幅を端末の幅にあわせませす。

```
<meta name="viewport" content="width=device-width, user-scalable=no, initial-scale=1, maximum-scale=1">
```

**電話番号の自動リンク解除**

ハイフン区切りの数字に自動的に tel: リンクが貼られてしまうのを防ぎます

```
<meta name="format-detection" content="telephone=no">
```

**ホーム画面用のアイコン指定**

ホーム画面に登録された際のアイコンの画像を指定します。画像は 57px × 57px の PNG 形式で準備します。

```
<link rel="apple-touch-icon-precomposed" href="iphone.png">
```

## CSS スタイリング

### リセット CSS

HTML5 のリセット CSS には「html5reset.css」を利用するとよいでしょう。

☞ <http://code.google.com/p/html5resetcss/>

### 代表的な CSS3 での装飾

ここでは、代表的な CSS3 の装飾を紹介します。各プロパティの詳細や、その他の表現は他のセッションなどを参考にしましょう。

#### エリアの背景を角丸にする

sample

角丸の背景

```
border-radius: 8px;
-webkit-border-radius: 8px;
※併記します
```

#### テキストにドロップシャドウをつける

sample

テキストシャドウ

```
text-shadow: 1px 1px 2px #ccc;
```

#### ボタンらしいリンクを作る

sample

ボタン

```
.button {
  border-radius: 5px;
  -webkit-border-radius: 5px;
  background-color: #cbcccf;
  background: -webkit-gradient(linear, left top, left bottom, from(#cbcccf), to(#acaeb0));
  width: 7em;
  font-size: 85%;
  text-align: center;
}
.button a {
  text-shadow: -1px -1px 0 #ddd;
  display: block;
  padding: 5px 0;
  color: #444444;
  text-decoration: none;
}
```

最後に JavaScript で仕上げます。

### — ライブラリ

JavaScript は、基本的にはデスクトップ向けのライブラリをそのまま利用できます。jQuery などを利用するとよいでしょう。

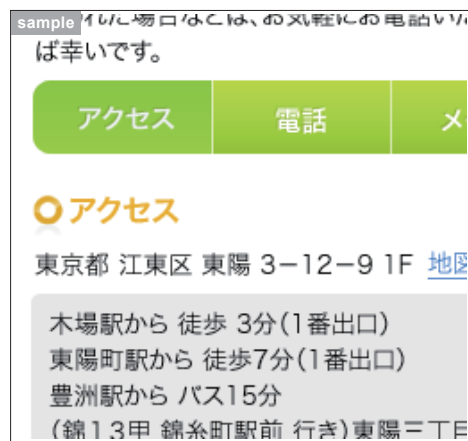
☐ <http://jquery.com/>

### — ページ内スクロールをする

to-R さんで配布しているライブラリを利用すると iPhone でも正しく動作します

☐ <http://blog.webcreativepark.net/2007/07/12-143406.html>

### — タブで区切る



```
$( 'a[href^="#area"]' ).click(function(e) {
    $( 'nav li.active' ).removeClass('active');
    $( this ).parent().addClass('active');
    $( 'section[id^="area"]' ).hide();
    $( $( this ).attr('href') ).fadeIn('slow');

    e.preventDefault();
});
```

### — ページを振り分ける

```
if (document.referrer.indexOf('playgroup-kiba.com') == -1 && ((navigator.userAgent.indexOf('iPhone') > 0 && navigator.userAgent.indexOf('iPad') == -1) || navigator.userAgent.indexOf('iPod') > 0 || navigator.userAgent.indexOf('Android') > 0)) {
    location.href = 'http://iphone.playgroup-kiba.com';
}
```



たにぐちまこと@H2O Space.

h2o-space.com

twitter.com/seltzer

